



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	御幸町9番・伝馬町4番地区市街地再開発事業 施設建築物新築工事	BEE	1	BEEランク	B+	★★★

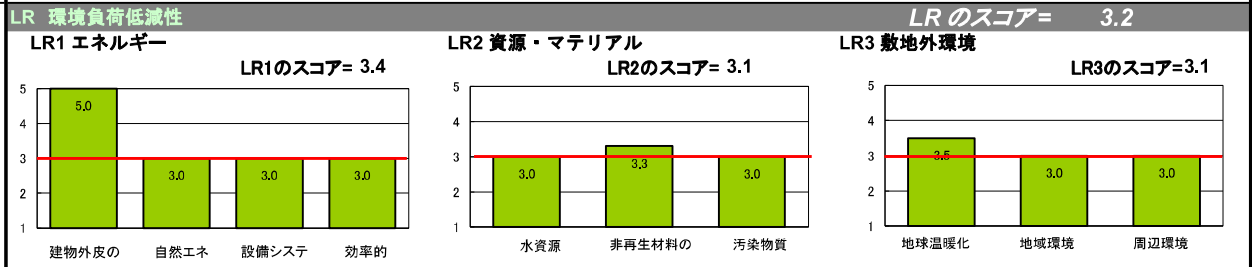
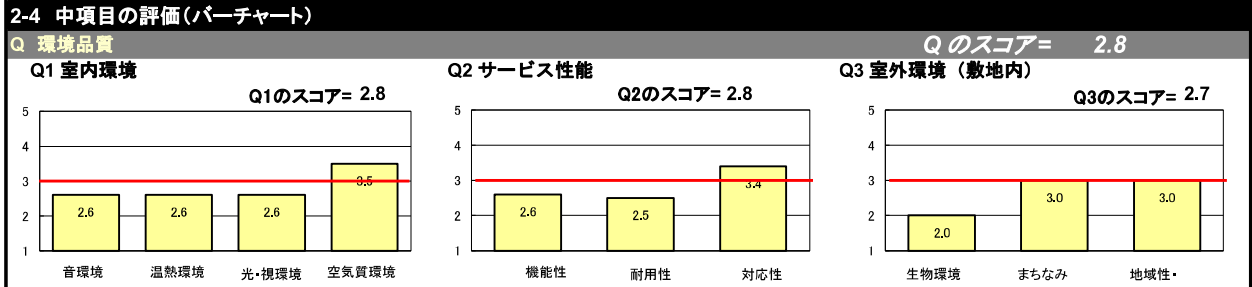
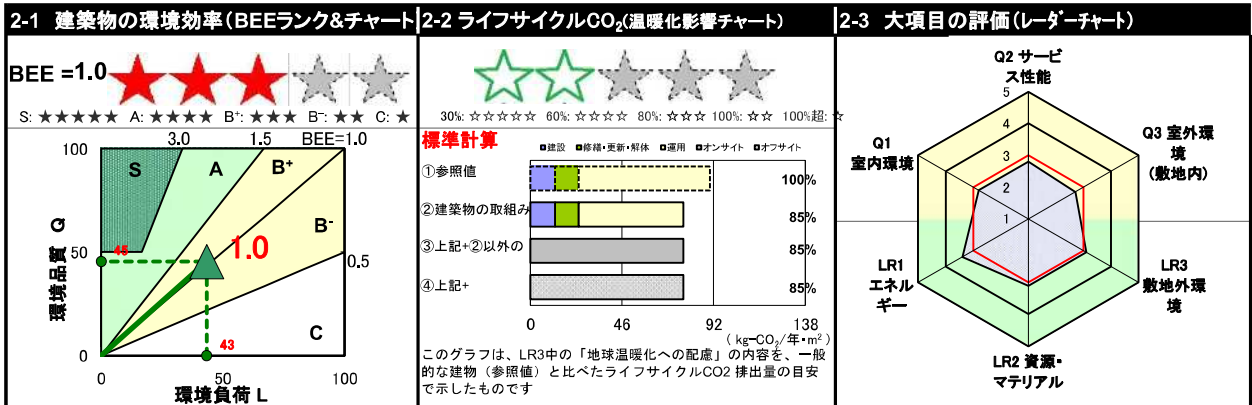
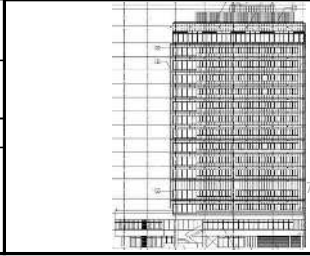
2. 重点項目への取組み度							
重点項目	得点 [※] /満点	取組み度	評価				
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.2	/5		ふつう			
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.5	/5		がんばろう			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	3.4	/5		ふつう			
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.9	/5		がんばろう			
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上		ふつう 3 点以上	
				がんばろう 3 点未満			

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目	
各項目について記述した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点	3.2
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming) ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①窓にはペアガラスを使用し、断熱性能を向上させ、快適な室内環境を確保している。		Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ⑤ 2.2.3 ⑥ 2.2.4 ⑦ 2.2.5 ⑧ 2.2.6 ⑨	外皮性能 昼光利用設備 昼光制御 躯体材料の耐用年数 外壁仕上げ材の補修必要間隔 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 空調換気ダクトの更新必要間隔 空調・給排水配管の更新必要間隔 主要設備設置の更新必要間隔
■室外環境(敷地内)対策 (⑩生物環境の保全と創出/⑪敷地内温熱環境の向上) ⑩建物上に緑化をし建物緑地指数30%以上を確保した。 ⑪緑地を確保するため建物植栽計画を行った。		Q-3 1 3 3.2	⑩ 生物環境の保全と創出 ⑪ 敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策 (⑫建物外皮の熱負荷抑制/⑬自然エネルギー利用/⑭設備システムの高効率化/⑮効率的使用) ⑬LED照明の採用。		LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑫ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑬ 自然エネルギー利用 ⑭ 設備システムの高効率化 ⑮ モニタリング ⑯ 運用管理体制
■資源・マテリアル対策 (⑯水資源保護/⑰非再生性資源の使用量削減/⑱内装物品等有材料の使用回数) ⑰節水型機器の採用。 ⑱OAFフロア、LGS工法にて再利用可能性向上への取組。		LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑯ 節水 ⑰ 雨水利用システム導入の有無 ⑱ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑲ 材料使用量の削減 ⑳ 既存産業・施設等の継続使用 ㉑ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ㉒ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ㉓ 持続可能な森林から産出された木材 ㉔ 部材の再利用可能性向上への取組み ㉕ 有害物質を含まない材料の使用 ㉖ 消火剤 ㉗ 断熱材 ㉘ 冷媒
■敷地外環境対策 (⑲地球温暖化への配慮/⑳温熱環境悪化の改善) ㉑タイマー制御の採用による外灯点灯時間の適切な管理を行い、光害対策に努めた計画としている。		LR-3 1 2 2.2	⑲ 地球温暖化への配慮 ⑳ 温熱環境悪化の改善
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster) ■サービス性能対策 (⑳耐震・免震/㉑信頼性)		Q-2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.4 2.4.1 2.4.2 2.4.3 2.4.4 2.4.5	㉑ 耐震性 ㉒ 免震・制振性能 ㉓ 空調・換気設備 ㉔ 給排水・衛生設備 ㉕ 電気設備 ㉖ 機械・配管支持方法 ㉗ 通信・情報設備
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design) ■サービス性能対策 (㉘機能性・使いやすさ/㉙心理性・快適性/㉚空間のゆとり) ㉘バリアフリー法誘導基準相当の計画とした。		Q-2 1 1.1 1.1.3 3 3.1 3.1.1 3.1.2	㉘ ユニバーサルデザイン計画 ㉙ 階高のゆとり ㉚ 空間の形状・自由さ
■室外環境(敷地内)対策 (㉛地域性・アメニティへの配慮)		Q-3 3 3.1	㉛ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)		Q-3 1 2 3 3.2	㉜ 生物環境の保全と創出 ㉝ まちなみ景観への配慮 ㉞ 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (㉟持続可能な森林から産出された木材/㊱温熱環境悪化の改善) ㊱タイマー制御の採用による外灯点灯時間の適切な管理を行い、光害対策に努めた計画としている。		LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	㉟ 持続可能な森林から産出された木材 ㊱ 温熱環境悪化の改善

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 |使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	御幸町9番・伝馬町4番地区市街地	階数	地上15F
建設地	静岡県静岡市葵区御幸町20番、伝	構造	S造
用途地域	防火地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	7地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、学校、物販店、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2024年2月 予定	評価の実施日	2022年2月24日
敷地面積	2,004 m ²	作成者	酒本 敏弘
建築面積	1,571 m ²	確認日	
延床面積	18,378 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項

総合		その他
これはCASBEE静岡(2016年版)による評価結果です。 ・駅前大通りに面した建物となることから、積極的な建物緑化を各所に計画し、まちなみの景観向上に寄与する施設づくりを目指した		・特になし
Q1 室内環境 ・窓にはペアガラスを使用し、断熱性能を向上させ、快適な室内環境を確保している。	Q2 サービス性能 ・事務所、学校エリアにOAフロア採用し、内部区画が変更しやすい計画とする。	Q3 室外環境(敷地内) ・限られた敷地内には積極的な緑化に努め、まちなみの景観に配慮した計画としている。
LR1 エネルギー ・省エネルギー機器の採用。	LR2 資源・マテリアル ・便器等の設備機器に節水型を採用し、水資源に配慮した計画としている。	LR3 敷地外環境 ・タイマー制御の採用による外灯点灯時間の適切な管理を行い、光害対策に努めた計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される